

【拜島第一小学校 教育目標】

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| ○ やさしく（徳） | 【正しい判断力、思考力、表現力を身に付け、仲間を大切にする児童】 |
| ○ つよく（体） | 【心と体をきたえ、健康で明るく、自己管理のできる児童】 |
| ○ よく考え（知） | 【自ら課題を見付け、意欲的に学び、主体的に活動・行動できる児童】 |
| 手をつなぐ拝島の子供 | 【相手の立場を理解し、互いに認め、助け合うことのできる社会性豊かな児童】 |

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 子供が安心・安全に過ごし、心を育て、可能性を引き出す
- (2) 6年間の学校生活で、未来に夢や希望をもてる子供を育てる
 - 自ら課題を見付け、仲間と切磋琢磨して解決する学習の提供
 - 一人一人の居場所、活躍の場の提供（子供に寄り添う）
 - 一人一人のよさを引き出す「個に応じた指導」の充実
 - 本物体験・自然体験・仲間体験などの体験活動の提供
- (3) 主体的で、自律した人間を育てる（知性と理性を兼ね備える）
 - 諦めない心と、継続する強い意志（目標・粘り強さ・達成感）
 - チャレンジする心、自らをふりかえる力（意欲・自己理解）
 - 自分は役に立っている実感、物事を前向きに捉えられる心（自己肯定感）
 - 異なるものの存在を認め、互いに尊重しようとする心（他者理解・グローバル化）
 - 豊かな学校生活を生み出すためのルールやマナー・エチケットを大切にする心（規範意識・協働の基礎）
 - 成長し続けようとする心（真実の追究・人間の生き方）
 - 互いに学び合い、高め合い、よりよいものを見付け出す意欲（共生社会）

2 めざす学校像

- (1)「生き生きと学び、達成感を味わえる学校」(子供)
 - 基本的人権が守られ安心して学ぶことができる。(いじめは絶対許さない!)
 - 個に応じた指導・支援ができる。(特別支援教育の充実)
 - 授業が充実し、生涯学習の基盤を身に付けることができる。
- (2)「安心して子供を預けられる信頼できる学校」(保護者・地域)
 - 自ら学ぶことのできる授業を実践し、知・徳・体の基礎基本が定着できる。
 - 安全で清潔な環境の中で生活できる。
 - 家庭や地域社会と相互理解・相互協力できる。
- (3)「働きがいのある学校」(教職員)
 - 温かい人間関係をつくり、全教職員が明るく生き生きと仕事ができる。
 - 互いに認め合い、支え合い、協力しながら組織的に教育活動を展開できる。
 - 教育活動の充実のために指導力を研ぎ、教職員個々の専門性を発揮できる。
- (4)「チーム＆ファミリー絆」(支え合う人とのつながり)
 - 学校とかわかる全ての人が、個性やもち味を発揮して指導・支援を行う。
 - 「子供のために」の思いを共有できる教職員・保護者・地域の輪を広げる。
 - 心理や福祉等の専門性の高い関係機関との連携を深める。

3 めざす教師像・組織像

- ◎ 子供の成長のために、全力を尽くす教師
- ◎ 子供の個性や主体性を引き出す指導力・授業力をもった教師
- ◎ 子供の手本となる姿を見せられる教師
- ◎ 子供の安全・安心を守ることでできる教師
- ◎ 教育公務員としての自覚（サービスに対する理解と高い意識）をもった教師
- ☆ 子供が主役となる活動をめざし、保護者・地域と共にあゆむ学校組織

【教職員との確認事項】

1 子供たちが安心して学び、生活できる環境づくり

- (1) いじめ、差別、偏見は決して許さないという指導を徹底する。
- (2) 互いに話し合い、聞き合い、認め合う指導を徹底する。
- (3) 個に応じた教育・特別支援教育の充実を図る。

2 学ぶ楽しさを実感できる環境づくり

- (1) 全ての活動の基盤は健康な心と体である。
- (2) 教師自身が日々の指導力の向上に努めること。
 - 新学習指導要領に示される新しい「学び」に積極的にチャレンジする。
 - 東京都教職員研修センター等の主催する各種研修へ積極的に参加する。

3 子供が納得する生活指導と規律ある生活づくり

- (1) 学校のやくそくを基盤に教員が一貫した指導体制を行い、学校全体でぶれないようにする。
- (2) いじめは根絶するが、トラブルは起こって当然である。トラブルを基に学び成長する。
- (3) 児童理解をしっかりと行い、法令上と社会通念上のいじめをしっかりと把握して解決に努める。
- (4) 事実を大切にしていじめを判断しないこと。事実を丁寧に把握する。

4 子供が学ぶ場としての環境づくり

- (1) 子供は動きが活発である。行動を想定することが危険回避につながる。
- (2) 危険を予知するために、確実な安全点検（学校内、敷地内、通学路等）や、防犯対策を行い児童や教職員の安全を保障する。

5 保護者・地域との連携づくり

- (1) 学校・家庭・地域が、それぞれも役割を分担・協力し、子供の教育に責任をもつ。
- (2) 地域の伝統や文化、特色を大切に、PTA や地域の行事には積極的に関わる。

6 拝島第一小学校の教職員として

- (1) 教職員は、一人一人が教育公務員としての自覚をもち、責任をもって仕事をする。学校は、常に説明責任と結果責任が問われている。
- (2) 教職員は、最大の教育環境であることを自覚する。服装（出・退勤時、勤務中）、言葉遣い、言動等、子供・保護者・地域みんなが注目している。
- (3) 服務事故の防止は学校の抱える大きな問題であることを自覚する。服務事故は学校の信頼を一気に失い、その回復には多くの時間と労力が必要となる。

7 教職員が健康であるために

- (1) オーバーワークにならないように、「見通し」「段取り」をしっかりとつようにする。
- (2) 学年で共有できるところは、できるだけ共有して準備を行うようにする。
- (3) 最終退勤が午後8時を過ぎないようにする。
- (4) 水曜日は、定時退勤日とする。
- (5) 快適な職場づくりのために、全教職員が協力する。（共同実践）

★ 本年度も、コロナウイルスの影響がどのようになるか分かりません。児童の学習効果が得られる活動を工夫して行っていく予定です。状況により変更が生じる場合もございますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。